



# 日向市キャリア教育の取組

～更なる充実に向けて～





# 日向市の紹介



人口約5万8千人  
宮崎県で4番目の都市

# 位置及び地勢



宮崎県の北東部に位置し、南に九州山地に連なる尾鈴山系、東に日向灘を望む

市域面積は、336.89平方キロメートル、人口は58,367人(令和4年9月1日現在)、県内では4番目の人口規模

九州山地に連なる山の文化(森林文化)と太平洋の海の文化(黒潮文化)が交わる交流拠点

● 柱状節理



# 日本の渚100選

● お倉ヶ浜



● 日本有数のサーフスポット



● 世界ジュニアサーフィン選手権大会



# 日向ひょっとこ祭り ● 2千人を超える参加者





# 細島港(日向市東部)／日向市内

岩ガキ



へべす



# 自然・歴史・文化



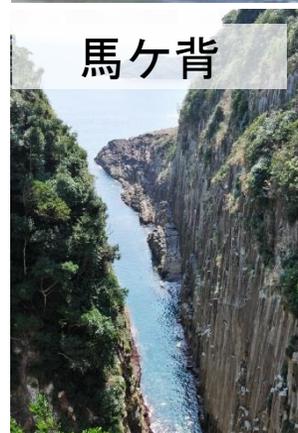
年間平均気温 17度  
年間日照時間 2,000 時間超

## (1) 温暖な気候と豊かな自然

日豊海岸国定公園の南端  
国の天然記念物「馬ヶ背」「日向岬の柱状節理」  
全国有数のサーフスポット「お倉ヶ浜」

## (2) 豊かな暮らしを支える農林水産業

市内を流れる「耳川水系」「小丸川水系」  
全国でも有数の林業地帯 木材加工流通の拠点  
あゆ、うなぎ、岩ガキなどの水産資源  
国内有数のブロイラー飼養地域  
日向完熟マンゴー ヘベす



# 日向市の学校数と児童・生徒数

- ▶小学校 13
- ◎中学校 7
- 小中一貫校 3校
- 分校 2校
- ・休校 1校

※県立高校 3校  
 ※特別支援学校 1校



## 【令和4年度 学校基本調査】

小学生 3,266人 中学生 1,658人

## 【児童生徒が最も少ない学校】

小学校 全校で20人 中学校 全校で71人

# 学校教育における日向市教育委員会の主な取組

H14

小中一貫教育

キャリア教育  
ふるさとの時間

コミュニティ・  
スクール

英会話科

H18 施設一体型  
小中一貫校開校

H18 ふるさとの時間開  
始

H17 県内初のコミュニ  
ティスクール認  
定・取組スタート

H18 英会話科の  
開始

H20 併設型  
小中一貫校開校

H22 地域人材・ゲスト  
ティーチャーの積極的  
活用

H18 学校運営協議会制  
度の導入

・ラーニング  
スタンダード  
策定と独自の  
教科書開発、  
ALTの配置

H23 施設一体型  
小中一貫校開校

H25 キャリア教育支援  
センターを開設

日向市の大人はみな  
子供たちの先生！

H29 中学校区で実践す  
るグランドデザインの  
策定

R1 コミュニティ・スクール 全学校での展開開始  
R2 地域学校協働本部 全学校での展開

R2

ひゅうが学びの学校

日向市「三位一体の教育」10

# 県内初 キャリア教育支援センター



日向市キャリア教育支援センターの看板を設置する（左から）飛田県教育長、三輪日向商工会議所会長、黒木日向市長、水永センター長（30日、同市の日向商工会館）

自立した社会人や職業人を育てるキャリア教育をさらに進めるため、日向市は30日、日向商工会議所内に「日向市キャリア教育支援センター」を開所した。地元の商工会議所と連携し、調整役となるコーディネーターを配置する県内初の試み。県全体のキャリア教育のけん引役として期待されている。

## 日向市に開所 コーディネーターに 職場体験、講師派遣などサポート

「日向の子供たちの未来づくり」を合言葉に、自立した社会人や職業人としてたくましく生き抜くための基礎を育てていく。具体的には、職場体験学習や社会人講師派遣事業などの市の取り組みをサポートし、小中学校を訪問したキャリア教育を推進していく。

開所式は同日、同市下町の日向商工会館であり、関係者はテープカット後、同会館玄関に看板を設置した。三輪純司日向商工会議所会長は「子供たちが伸び伸びと力を表現できる職種に出合ってくれることを願っている」と式辞。飛田県教育長は「ますます大で取り組もう」という日向市の姿勢に感謝、フロン



日向の大人はみんな  
子供たちの先生

よのなか教室



14歳のよのなか挑戦



キャリア教育  
支援センター

# よのなか教室

～職業講話～



# 1 4歳のよのなか挑戦

～職業体験～

- ▶強い目的意識
- ▶3日～4日間で再編

支援センターでマッチング

「何でもいいから経験する」ではない！ 14

# 14歳よのなか挑戦

日向の大人はみな  
子供たちの先生

「普段どおりの仕事を経験」

「許される範囲で失敗の経験」

新入社員というスタンスで！



「考える」機会



仕事に対する  
「思い」を  
語っていただく

# ～更なる充実に向けて～

キャリア教育は小中9年間で計画的に行うものであり、継続性や連続性が必要

どのように社会、世界と関わり  
よりよい人生を送るか

学びに向かう力・人間性

何を理解しているか  
何ができる

知識・技能

理解していること・  
できることをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

「探究」を経験させるのは、

学校や教師にとって容易なことではない!!!

キャリア教育支援センターの重要性

## 今求められること

センター機能を充実

教職員の人事異動で後退しない仕組みづくり



## ◇◇◇現 状◇◇◇

- 予算的には脆弱であり、協力者に対し、ガソリン代も出せないし、保険すら掛けられない状態。
- 市民への広報についてはLINEなどを使ってやっているが、HPは予算的に更新が難しい状態でブログ更新のみで対応。

## 今後の取組

- ◆よのなか挑戦や、よのなか教室の改善・拡充、協力事業所の拡充、市民の理解を深める講座運営などを行う予定である。

日向市の子供たちの未来づくりに直結する  
キャリア教育に、ぜひご支援いただきたい